



佐々木 芳喜さん(79)
ち 千秋さん(80)

豊里町・横町
昭和34年2月入籍

昔一生懸命働いたから今がある

★結婚当時の思い出は

【芳喜】最初は文房具屋やつべど思ってたけど、おばあさんが床屋だから床屋でもいいさとなったのね。見合いで一発で一目惚れだね。

【千秋】最初はお会いしてそれなりに。こっちのほうさ拾われてきて、床屋を1週間後に開店させるために忙しいばり忙しくて(笑)

★印象深い出来事は

【千秋】趣味のカラオケで、11年前に石巻市民会館で豊里町カラオケ月曜会代表で出たことかな。

【2人】おじいさんが交通安全全功労賞を受賞。金一封頂き

5泊6日で九州を一周してきた。いい思い出だね。

★現在の楽しみは

【芳喜】相撲と野球観戦が一番楽しみ。また晩酌時にめんこい孫が「じいちゃん酒つこ飲む」と聞き、おかずと一緒に用意してくれることかな。

【千秋】カラオケ仲間との旅行だね。

★夫婦円満のコツは

【2人】ケンカもするけど、お互いに思いやって補い合っ

て暮らしている。
★やりたいこと
【2人】おしゃべりしながら、お茶っこ飲みして楽しく過ごしたい。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

田舎のお茶飲み話の役割を今でも

私は、佐沼高校8回生。現在、千葉県習志野市に住み、79歳になろうとしている。在京の同級会は毎年開催され、今年はその幹事役を仰せつかったところである。同級生の名簿を見ると、その半数が東京近郊に在住している。改めてわれわれは、ほかの世代にはない生き方をしていると。高橋の頃の登米市は、ほとんどが農家だった。その大半が、生活を維持するのがやっとな。長男以外は地元に残らないのが当たり前だった。次男以降は、東京に出ることが普通で、全く不安を感じていなかった。それが当然だった。

坂正直さん(78)

東京中田会副会長(登米市在京町人会連絡協議会委員)
中田町(籠壇)出身



た。不安を感じなかったのは、身内や近所の人たちなど、東京での生活ぶりを聞くことができたからだ。隣近所や親戚との交流が盛んで、家に帰れば家族以外の誰かがお茶のみをしていた。こういった古里の風習である、情けに厚い人付き合いに感謝している。
小さい頃、体が弱いこともあり、炬端のお茶のみ話によく同席し、大人の話を傾けた。東京から帰京した際、必ず立ち寄ってくれた母方の伯父は憧れでもあった。
その田舎の風習は、今どうなっているのか、気になるところでもある。こちらの暮らしてはほとんど見られない。私は高校のほかに中学校の同級会と東京中田会にも参加している。その集まりが田舎のお茶のみ話の役割をしているように思える。集まれば思い出話をし、古里の近況を報告し合っている。

東京には、登米市の旧町ごとの同郷会が九つある。数年前、その連絡協議会に布施市長が出席し、東日本大震災の被災状況と支援について報告いただいた。誰もがありがたく拝聴した。故郷の近況は、常にわがことのように気になっていたのである。

おらほの産直

産地直売所「いしこし大好き」



気軽に立ち寄れる 石越の茶の間

今月は、産地直売所「いしこし大好き」の佐藤律子店主にお話を伺いました。
Q「いしこし大好き」の特徴などについて教えてください
2001年度にJ.R石越駅の東側にオープンしました。「いしこし大好き」は、誰もが気軽に立ち寄れる石越の茶の間を目指し、くつろぎと憩いの場を提供しています。また、惣菜もほとんどここにある野菜で手作りしています。お昼前、店内にみそ焼きのいい香りが広がり食欲をそそります。お弁当も前日まで申し込んでもらえれば500円で配達しています。

Qお勧めのものを教えてください
町内で採れた新鮮な野菜は



もちろんのことですが、5月から販売するトマトは味が良く、おいしいので大好評。7月ぐらいから販売するプラムも好評でそれを目当てに来るお客さんもいます。また、農家手作りの漬物や惣菜のコーナーでは餅、おにぎり、ドーナツ、煮物、みそ焼きなどが好評です。さらに店内の佐藤家の食卓ではバイキングを実施。所狭しと並んだ旬の惣菜を好きなだけ買うことができ、その場で食べることもできます。
【問い合わせ】産地直売所「いしこし大好き」
☎0228(34)3623

まちの文芸

俳句・川柳

作品募集!

●8月号は短歌です。住所・氏名・電話番号を記入し、6月30日(木)までご応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。応募者多数の場合選考して掲載します。

川柳

宝くじ当たるつもりを使い道

俳句

通学の子等の頬にも青田風

苔濡らし躍る溪流夏めきぬ

山間の茅葺屋根の鯉のぼり

烏雲に去りゆく声の行方かな

あふりかの飢えし瞳やこどもの日

相澤

志子 (東和)

及川

豊子 (東和)

小野寺

和彦 (東和)

菅原

いよ子 (東和)

阿部

武 (中田)

菊地

完二 (中田)

近藤

譲行 (中田)

二木

ゆきこ (中田)

山内

晨 (中田)

及川

レイ子 (米山)

佐藤

喜美子 (津山)

須藤

みゑ子 (津山)

高橋

ちよの (津山)

応募総数31作品